

研究番号 721号 承認日 2017年5月1日  
 研究実施予定期間 承認後～2022年3月31日

## 情報公開文書

1. 研究課題名	消化器癌患者の入院時骨格筋量と身体機能及び栄養状態と術後身体機能の関連性及び術後理学療法の安全性の検討	
2. 研究の目的及び 実施計画の概要 (研究に薬品や機器がある場合には品名と一般名も記載)	近年、サルコペニアの存在ががん患者に及ぼす影響についての研究が著増しているが、臨床的意義については未だ不明な点が多い。サルコペニア研究の多くは骨格筋量に注目しているが、骨格筋量と筋力、身体機能は直線的な関係を持たないため、筋力や身体機能も重要なアウトカムとなる。また、サルコペニアや低栄養は術後理学療法のリスク因子となり得る。本研究では、手術目的で入院となった消化器癌患者の術前の骨格筋量と身体機能及び栄養状態が術後身体機能に及ぼす影響について検討するとともに、術後理学療法の安全性について検討することを目的とした。	
3. 研究責任者 氏名・所属・職・所属機関	林田賢治・整形外科・部長・大阪警察病院	
4. 研究実施責任者 氏名・所属・職・所属機関	田中孝平・リハビリテーション科・技師主事・大阪警察病院	
5. 研究の分類	<b>〈侵襲性について〉</b> <input type="checkbox"/> 侵襲を伴う研究 <input type="checkbox"/> 軽微な侵襲を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 侵襲を伴わない研究	<b>〈共同研究の有無について〉</b> <input type="checkbox"/> 多施設共同研究 <input checked="" type="checkbox"/> 当院のみの研究 <input type="checkbox"/> その他 ( )
	<b>〈介入について〉</b> <input type="checkbox"/> 介入を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 介入を伴わない研究 (観察研究)	<b>〈インフォームド・コンセント (アセント) について〉</b> <input type="checkbox"/> 必要 <input checked="" type="checkbox"/> 不要
	<b>〈試料・情報の利用について〉</b> <input checked="" type="checkbox"/> 新規 (取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存 (取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存 (残余検体の利用) <b>【保存年数】</b> <input checked="" type="checkbox"/> 3年 (提供元の場合) <input type="checkbox"/> 5年 (提供先の場合)	<b>〈モニタリングと監査について〉</b> <input type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> モニタリング実施者 ( ) <input type="checkbox"/> 監査実施者 ( ) <input checked="" type="checkbox"/> 不要
	<b>〈対応表の作成の有無について〉</b> <input type="checkbox"/> あり (具体的な管理方法について: ) <input checked="" type="checkbox"/> なし	
6. 研究の対象者	2016年4月～2020年3月に当院で消化器癌に対する手術を受けた方	
7. 問合せ先	<b>【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】</b> 大阪警察病院 大阪市天王寺区北山町 10-31 診療科: <u>リハビリテーション科</u> 担当者: (氏名) <u>田中 孝平</u> (職名) <u>技師主事</u> 連絡先: 06-6771-6051 ※本研究に関するご質問等がありましたら上記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないのでお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生	

	じることはありません。
--	-------------

研究番号 721号 承認日 2017年5月1日  
 研究実施予定期間 承認後～2020年3月31日

## 情報公開文書

1. 研究課題名	超音波画像診断によるICU入室中患者の下肢骨格筋量の継時的変化と退院時運動機能の検討	
2. 研究の目的及び 実施計画の概要 (研究に薬品や機器がある場合には品名と一般名も記載)	ICU-acquired weakness (ICU-AW) は、ICU 入室重症患者における急性の瀰漫性筋力低下で、入院期間の延長や長期予後の悪化に影響することが報告されており、ICU-AW の予防は急性期リハビリテーションの重要な目的となる。しかしながら、鎮静やせん妄等の影響により ICU 入室患者の筋力評価は困難な場合が多く、筋力低下の程度についての報告は少ない。本研究では、超音波画像診断を用いて、ICU 入室中患者の下肢骨格筋量の継時的変化と退院時運動機能の関係について明らかにすることを目的とした。	
3. 研究責任者 氏名・所属・職・所属機関	林田 賢治・整形外科・部長・大阪警察病院	
4. 研究実施責任者 氏名・所属・職・所属機関	柏木 宏彦・リハビリテーション技術科・副部長・大阪警察病院	
5. 研究の分類	〈侵襲性について〉 <input type="checkbox"/> 侵襲を伴う研究 <input type="checkbox"/> 軽微な侵襲を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 侵襲を伴わない研究	〈共同研究の有無について〉 <input type="checkbox"/> 多施設共同研究 <input checked="" type="checkbox"/> 当院のみの研究 <input type="checkbox"/> その他 ( )
	〈介入について〉 <input type="checkbox"/> 介入を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 介入を伴わない研究 (観察研究)	〈インフォームド・コンセント (アセント) について〉 <input type="checkbox"/> 必要 <input checked="" type="checkbox"/> オプトアウト
	〈試料・情報の利用について〉 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 (取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存 (取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存 (残余検体の利用) 【保存年数】 <input checked="" type="checkbox"/> 3年 (提供元の場合) <input type="checkbox"/> 5年 (提供先の場合)	〈モニタリングと監査について〉 <input type="checkbox"/> 必要 ・モニタリング実施者 ( ) ・監査実施者 ( ) <input checked="" type="checkbox"/> 不要
	〈対応表の作成の有無について〉 <input type="checkbox"/> あり (具体的な管理方法: ) <input checked="" type="checkbox"/> なし	
6. 問合せ先	<b>【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】</b> 大阪警察病院 大阪市天王寺区北山町 10-31 診療科: リハビリテーション技術科 担当者: (氏名) 田中 孝平 (職名) 技師主事 連絡先: 06-6771-6051  ※本研究に関するご質問等がありましたら上記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないのでお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。	

